

事業所名 うさぎとクローバー

運営推進会議開催報告書

開催日時 平成 31年 1月23日（水）10時00分～11時00分	
参加者	議題
利用者 0名	うさぎとクローバーの運営状況の説明
利用者家族 0名	・会社概要について
地域住民の代表者 1名	・利用者状況について
市職員 1名	・年間行事、取り組みについて
地域包括支援センター職員 2名	・事故、ヒヤリハットについて
事業所 2名	・地域への取り組みについて
会議録	
資料に基づいて、ご説明をさせていただきました。	
<input type="checkbox"/> ご質問があった内容 <ul style="list-style-type: none"> ・介護度の一番高い方は？ →要介護3です。 ・一日の平均利用者数は？ →およそ6.5人です。 ・職員の体制は？ →3名です。 	
<input type="checkbox"/> ご意見として <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に来るところがあるというのが大事だと思う。 ・特徴があってよい。 ・ニーズ発掘をされていて、いろんな選択肢があるのは良い。 ・半日型はリハビリ特化型が多く、うさぎさんのような半日型はほとんどないと思うので、ニーズは多いのではないかと思う。 ・地域とのつながりは被災時などには大切なことなので、午後の教室は事業としての採算性は厳しいと思うが引きつづき取り組んでほしいと思う。 ・介護事業所は何をやっているかわからないという意見は多いが、西陵まつりに出展など、地域に参加しているのは良いと思う。 ・男性が集まれる会を実現してほしい。 	
<input type="checkbox"/> 次回開催日程について 平成31年3月15日（金）	



うさぎとクローバー 運営推進会議資料

平成 31 年 1 月 23 日

<企業理念>

- ・私たちは、福祉サービスを通じて、人の心を豊かにします。
- ・私たちは、地域の困り事を解決し、住み良い社会づくりに貢献します。
- ・私たちは、変化に対応しつつ支え合い、学びながら成長し続けます。

<うさぎとクローバー方針>

笑顔で気持ちよく利用者の横に座って傾聴し、利用者のニーズを把握し、必要なサービスを起こす。日頃からアンテナを高くして利用者が他者貢献の喜びを通して生きがいを感じられるような企画を提供し、接客力を高め、利用者と一緒に楽しみます。デイサービスの固定概念を覆す教室型サロンを目指して協力し合い、利用者が自ら来たいと思えるサービスを提供し続けます。

<施設案内>

開設日 : 平成 25 年 6 月

営業時間 : 9 : 30 ~ 12 : 40

“元気な方の予防型サロン”として入浴設備はありません。

定休日 : 土曜、日曜日 12月29日から1月3日

<利用状況について> 平成 30 年 12 月末

登録 人数 : 22 名 (男性 1 名、女性 21 名)

要介護認定 : 10 名

要支援認定 : 5 名

事業対象者 : 7 名

平均介護度 : 要介護者 1.3 要支援者 1.4

<毎日の取り組み>

送迎のご希望のある方のご自宅までお迎えに伺います。

来所してバイタルチェック、お茶タイム。

手先を動かしながらのおしゃべりで認知症予防に取り組んでいます。

手芸テーブルとお菓子作りテーブルに分かれて活動します

昼食前には全身運動と口腔体操を行います。

オープンキッチンで手作りの昼食をスタッフもみな一緒にいただきます。

ゆっくりとお話しをした後、ご自宅にお送りします。

<年間行事> (平成30年4月～平成30年12月まで)

7月から8月 瀬戸市介護予防教室(運動):アンチエイジング教室
全6回行いました。

10月から11月 瀬戸市介護予防教室(運動)・・・アンチエイジング教室
全6回行いました。

11月 西陵まつり作品展に出展しました。

12月 弊社保育ルームの子どもにクリスマスケーキを作成し、
手作りのさんかく帽子と一緒にプレゼントしました。

<ヒヤリ、事故件数> (平成30年4月～平成30年12月まで)

ヒヤリ: 7件 事故: 0件

内訳・・・乗車時によるめく(3件、内2件同一利用者)

いすから立ち上がり時によるめく(1件)

歩行時のふらつき(1件)

杖返却忘れ(2件、同一利用者)

(同じ利用者で同様のことがおきている事例については、ミーティングを開催)

<介護予防としての取り組み>

家からなかなか出ない高齢者のための第一歩として活用いただきたいと取り組んでおり、本来のデイサービスの概念にとらわれず、サロンや喫茶店にでかけるような感覚で介護予防につなげたいと考えています。

作品作りの内容はご自身でカタログから作りたいものを選んでいただいています。

また、作品作りテーブルとおやつ作りテーブルに分けて活動することによって、ご自分で意思決定することを大切にしています。

また、「他者貢献」をテーマに、取り組んでいます。

ご自分が作成したものをプレゼントして喜んでもらった体験は自分もまだまだやれるという自信を取り戻していただくことにつながり、心身の元気を取り戻した例もあります。

また弊社学童の子ども達に毎日手作りおやつを作成することで、自分が頼りにされている、自分がやらなくてはという役割がある状態につながり、子ども達が喜ぶからと、毎回楽しみに通ってくださっている方もいらっしゃいます。

半日型のデイサービスはリハビリ特化のものが多いため、他者との交わりやとじこもり予防としてご利用いただく方も増えています。

<大切にしていること>

- ・企業理念、方針に基づき、利用者様の隣に笑顔で座り、ゆっくりお話を聞き、ニーズに応えていくこと。
- ・家からなかなか出られない高齢者が気軽に通えるようにサービスを展開すること。
- ・介護施設の雰囲気を全面に出さずに内容は介護予防を行うこと。
- ・家族のようなゆっくりとした時間を一緒に過ごし、一緒に楽しむこと。
- ・厨房で手作りの温かい食事の提供。
- ・ご家族様との連絡、関係作り（送迎を介護担当のスタッフで行う）
- ・カンファレンス、研修、避難訓練を月に一度は必ず行う。（必要に応じて適宜）

<地域に向けての取り組み>

- ・午後は地域の方が集える“お教室型アンチエイジングサロン”として活動しています。内容がわかるカレンダーを作成しており、予約でいらっしゃる方が増えています。今後も魅力のある企画を提供していきます。
- ・瀬戸市介護予防教室を開催し、地域の方にも活用いただいています。
- ・西陵まつり出展も3回目となり、地域の方の取り組みへの認知度も上がってきています。
- ・継続して介護予防に特化した活動を行っていきます。

<今後の取り組み>

- ・月に一回土曜日を利用し、認知症理解と予防のためのサロン開設を計画しています。
- ・来年度においても瀬戸市介護予防教室を受託でき、多くの方に介護予防に取り組んでいただけるように努めていきたいと考えています。